

令和 6 年 8 月 30 日

真庭市議会議長 小田 康文 様

令和 6 年度 真庭市議会市民と語る会実施報告書

報告者（班長） 氏平 篤正

開 催 日 時	令和 6 年 7 月 24 日（水） 19:00～21:00		
開 催 学 区 名	美甘小学校		
会 場 名	美甘振興局		
出 席 議 員	班 長 : 氏平 篤正 ..... 副班長 : 岩本 壯八 班 員 : 長尾 修、森田 敏久、吉原 啓介、黒川 愛		
参 加 人 数	9 人 (うち議員 6 人)		
発 言 の 種 類	発 言 の 内 容	会 場 で の 対 応	備 考
意 見	○中学校の統廃合説明が 1 回だけだった。	中学校については、親と生徒が決めた。	済
意 見	○分別用の生ごみバケツ要るか要らないか、アンケートをとるべきだったのでは。	先行の久世市街地では喜ばれている。蒜山では生ごみはコンポストも多い。	済
意 見	○女性用のシェアハウスを立ち上げた。ボランティアで手伝ってくれる人もいる。地域に仕事場がないので、久世から来られてる。クリエイト菅谷などを活用して、地域内の近場で仕事づくりを。	どういった地域づくりが必要か、一緒に考えていく必要がある。情報発信ができていない。人が来るよう、外部と連携しながら、一緒にやっていくべきである。	済
意 見	○空き家サポート 空き家はたくさんある。改修補助金はあるが、資金的な面など、全部自前ばかり。美作の梶並は、3 件、行政が一緒になってやってる。美甘は、何日か滞在する場所もない。お試し住宅もない。置いていかれたような閉塞感がある。振興局が、もっと踏み込んだ支援を。	総務委員会が、空き家のことで、美甘に来させてもらった。ご意見を吸い上げ、議会全員の合意を得ることができれば、政策提言をしたい。陳情書が出れば、議会としても後押しする。	済
意 見	○地域活性化に向けて人材をもっと行政に関わって欲しい。行政からの情報もない。地域おこし協力隊も、来なくなった。集落支援員だけでは、無理がある。集落支援員の給与を上げるなどしないといけない。	地域おこし協力隊、集落支援員は、真庭市は他市より手厚い。ただ、権限が少ないことが問題。	済
要 望	○美甘には、まにこいんチャージ機がない。不便を感じる。	執行部に伝える。 (以下担当課からの回答) 今のところ、美甘に設置予定はない。	総合政策課に伝える

意見	○移住定住施策 移住者、若者の呼び込みは。	生活の基盤を考えないといけない。雇用も、お試しなどを、真庭市として考えていなくては。移住支援などの地域ボランティアをしている人にも支援が必要だと話している。	済
意見	○空き家と住まい 20年住んだら、個人の持ち物になる地域もある。人口減少地域は、そういう方法もある。市営住宅のようなもので、数年間家賃を払えば自分のものになるなど。	移住者は売買ではなく、賃貸希望が多い。5年間住んだら、それを頭金として購入というところもある。宅建業法のこともあるが、行政側に目利きできる専門家がない。外部の力を使っていけないといけない。	済
意見	○空き家と住まい 空き家になってから、何かしようとすると手がかかりすぎる。お金もかかる。事前に話をし、空き家になったら貸し出すこともしている。空き家解体はお金もかかるので、近所に迷惑がかからないなら、放っておくしかない場合もある。	空き家を買取る会社もあるが、価値がないと買わない。	済
意見	○一般質問 国会のように、関連した質問をやって、自分の質問で、もっと突っ込まないといけない。市長は国や県が悪いと、逃げる答弁をするが、どうやったら、地域住民がやっていけるか。市長から答弁をとってほしい。議員の追求ができていない。	議会改革に取り組んでいる。今日の会も、その延長でやっている。サイクルでやっていき、政策提言につなげていく。	済
意見	○合併槽 支払いは、今は管理費。下水道より管理費が高い。修繕など、補助金がない。入替や修繕などできるか不安。	下水道は、周辺部としては、同じ問題意識を持っている。	済
意見	○振興局の調整費はあるのか。昔は一括だったが、途中から人口割になった。	対応：その場で、一昨年度の調整費もとに、振興局費の使用状況を説明した。	済
意見	○人事について なぜ異動させるのか。市役所では、仕事の途中で異動になる。	人事は職員の希望どおりにいってない。勉強や人間関係のリセットのために、人事異動は必要。真庭市は、中途退職も多い。課題は確かにある。	済
意見	○JR株 連帯して買わないといけない。1億でなくても、2千万円でもいいので、よそも一緒に買わないと。トップセールスはできたので、足元を見てほしい。	市長と話そうもあるので、活用してほしい。	済

意見	<p>○地域を考慮した地域予算をつけるべきである。小規模多機能自治で、地域予算をつけてるところもある。地域自治が真庭市でもっと進めばよいと思う。地域の人が何をしたいのか、地域を考慮したやり方、予算の配分を、真庭市も、もう少しやって欲しい。</p>	<p>予算と一緒に本部機能も必要。太田市長は、コンパクトシティ、本庁強化を言い出したこともあったが、今は違う。周辺部の人間は、同じ思い。</p>	<p>済</p>
----	---	--	----------

令和 6 年 8 月 30 日

真庭市議会議長 小田 康文 様

令和 6 年度 真庭市議会市民と語る会実施報告書

報告者（班長） 氏平 篤正

開 催 日 時	令和 6 年 7 月 26 日（金） 19:00～21:00		
開 催 学 区 名	遷喬小学校		
会 場 名	久世エスパセンター		
出 席 議 員	班 長 : 氏平 篤正 ..... 副班長 : 岩本 壯八 班 員 : 長尾 修、森田 敏久、吉原 啓介、黒川 愛		
参 加 人 数	16 人 (うち議員 6 人)		
発 言 の 種 類	発 言 の 内 容	会 場 で の 対 応	備 考
意 見	○法改正により、漬物売り上げ減法改正で、新しく工場を建てるよりも、止める人が多かった。真庭市で加工場設置の補助金があれば、手助けになる。	いろいろな方の話を聞いて、対処していきたい。	済
意 見	○人口減少、全国的な問題 2050 年には、真庭市は 2 万 6 千人足らずという推測。大変な問題。商売が成り立たず、医者も、倉敷など出て開業してる。市が人口対策会議を開いたが、どんな意見が出たか。市民からも意見を聞いた方がいい。コンパクトシティにもっていくべきだ。3 人ほどの集落について、考えていけない。お年寄りはどうなるかわからない、心配。	消滅自治体への危機感もある。中学生の 6 割が市外に出る。女性の方は帰ってくる率が少ない。対応の 1 つとして、高校魅力化の基金をつくった。人口減少対策会議は、まずは職員のアイデアを募集し、子育て支援や交通費補助、住まいなどへの意見が出た。	済
要 望	○一人親向けの講座や資格取得制度 看護師や歯科衛生士など、市内では受けられない。オンラインは、真庭市はだめだというが、そういった制度は、市では受けられない。	勉強できる機会や取組みは必要。執行部に伝える。 (以下担当課からの回答) 実技が伴う資格取得制度なので、オンラインだけでは難しい。	子ども家庭センターに伝える。
意 見	○少子化へのビジョン 少子化になっても、楽しいと市議会議員が示してほしい。少子化になっても、真庭市にいれば、幸せな人生が送れるしてほしい。	地道にやっていけば、まだまだ頑張れば真庭市はいけるかなと思う。少子化の市政について、この場で何かできるというものは、今日は少ない。今後の活動の参考にさせてもらいたい。生活をどう満足させていくのが大切。教育、子育ての疑問点について、考えていきたい。	済

意見	○真庭市のインクルーシブ教育状況は	医療的ケア児が園や学校に通えるよう、取り組んでる議員もいる。支援員さんを配置して、市内の学校でも取り組んでいる。支援員の配置は、児童数ではなく、支援の必要に応じて配置されている。	済
意見	○支援がいる子どもの学童が1社の会社だけで、選択肢がない。	選択肢は必要だと思う。民間の力がある。	
要望	○福祉サービスについて 手帳をもらったとき、意見書と診断書の違いも分かりづらかった。職員に聞いても、説明が分からなかった。自分で情報を集めないといけないので、大変だった。市のパンフレットは読んで。福祉制度の充実を。	執行部に伝える。 (以下担当課からの回答) 意見書は、診断書を取れないもので、診察者の意見を述べたもの。職員会議で問題を共有する。	福祉課に伝える。
意見	○同意書にハンコがある。押印がまだいるのか、自署でも求められる。不便。	真庭市は、基本的に、押印廃止の方向で取り組んでいる。執行部に伝える。 (以下担当課からの回答) 制度的に、まだ押印が要るものがある。	市民課に伝える。
要望	○防災の取り組みについて 真庭スポーツ振興財団に、真庭市は任せすぎている。出前講座の予算が減らされている。市の取り組みがなくなっている。真庭市の危機感が少ない。今一度原点に帰ってほしい。	真庭市は防災の意識が少ない。出前講座が減り、防災担当者も市外にでってしまった。執行部に伝える。 (以下担当課からの回答) 予算は減らしていない。スポーツ財団への委託は今後も継続する予定。	危機管理課に伝える。
意見	○JR 利用促進について 学生しか使ってない。無くなってしまう危機がある。株取得はPR 効果もあったと思うが、利用が増えるのか。車社会で、利用者を増やすような政策があるのでは。沿線でイベントがあったらという声も聞く。効果があると思う。	通学上、JR は必要不可欠なインフラ。沿線自治体は大切だと、JR は言ってる。意識が希薄過ぎると思ってる。利用促進案は、JR 東日本は、電車と車の組み合わせがある。真庭市はEV 車のカーシェアはあるが、中途半端。枝をかき分けて走る魅力などもあり、イベント列車などの提案はしているが、駅舎のイベント止まり。	済
意見	○姫新線存続 いすみ鉄道など、民間が頑張るところがあるが、JR 西日本でできるのか。これから黒字になるとは、素人から見ても考えられない。赤字を誰が埋めるのか。税金なのか、誰か出してくれるのか。市民含め、国民が税金を投入しても要ると言えば要るのだろう。	沿線に学校がある限りは、鉄道はいると思ってる。学生のためだけでも、要ると思う。教育の問題。綺麗事抜きで死守していかないといけない。	済

意見	○JR株 配当金など 高校生も使うので、有意義に使って欲しい。	230万円ほど、配当金がある。真庭市独自のことができるので、良い案があれば、教えてほしい。株主優待の券もある。	済
意見	○市外高校の選択 真庭市以外の高校に行くのが問題というのは違うと思う。市外の学校に行くのが、悪いという発言だけはやめてほしい。否定的に切り落とすというのはやめてほしい。	肝に銘じていく。	済
意見	○共同墓地を作ってほしい。	対応：ホームページを参照し、市の共同墓地の案内をした。	
意見	○英検の補助、1回限り。 真庭市以外は援助が受けられない。いずれ帰ってくるかもしれないのに、区別差別を押し込んで良いのか。市外でも受けれるように。	執行部に伝える。 (以下担当課からの回答) 昨年度から、真庭市に住所を有する中学校生徒へ、年間一人1回としている。津山市内の学校に通う対象者には、学校を通じて案内している。	教育委員会に伝える。
意見	○老老介護問題 個人のお年寄りの面倒をみていかないといけない。年金問題など不安が多い年寄りが増えるのに、支える人が少ない。児童介護も不足している。私自身も危機感が足りないが、議員はどう思っているか。動けなくなった時に、行き先はあるのか。	久世や美甘で、地域のお年寄りがお年寄りを助け合う取り組みも始まっている。物語会議などでも話が出ている。切り捨てることはない。情報発信について、市に働きかけてくる。要支援、要介護者は減っている。介護保険料も50円減った。認定者が少ないのも1つ。政策として、面倒をみていくべきだ。	済
意見	○新しい蒜山の建物は、経済効果があるのか。数字を出して欲しい。コロナも落ち着き、今後伸びるから良いというわけではない。計画があったはずなので、チェックしないといけない。	チェック・報告は必要。	済
意見	○技能実習生、留学生の受け入れ。交流の機会の確保などは。	食を通じたグループ。交流の機会なども必要だと思う。	済
質問	○市の職員数・救急救命士の数は。	市の職員は約1000人、消防職員は約100人。執行部に確認する。 (以下担当課の回答) 市役所職員は計1250人(正職員は745人)。消防職員は99人、うち救急救命士は38人。	総務課に確認する。
意見	○真庭市の運営について 若者の力の活用を。帰ってきやすい場所に。市内外の高校生の意見も取り入れてほしい。若い人に市政に興味を持ってもらうためには、学校教育を変えないといけない。真庭市の探求時間を拡充。政治、経	議会では市内高校生と、ほぼ毎年意見交換をしている。久世には、NPOでユースセンターもできた。市も、市政に若者の声を取り入れようと頑張っている。	済

	<p>済に関心を持つような人を育てていく。SNSやホームページなどで発信が大切。こういったイベントや会議の参加対象は、学生だけでも、大人も一緒でもいい。勉強だけじゃない場づくりを。</p>		
要 望	<p>○物語会議について 今月の広報まにわにも、物語会議が載ってる。突然広報に出てきた。なんで、あんな会議ができたのか、どんなメンバーがいるの分からない。高校生、中学生を中心に、物語会議などが構築されれば、若い人の意見が集約されると思う。学生が参加しやすい時間帯などの開催が必要。</p>	<p>執行部に伝える。 (以下担当課の回答) 募集は4月からで、HP、告知放送、広報紙で行った。市外の高校生には、学校を通じて案内を行った。市内の各校地で物語会議を開催する予定。</p>	<p>総合政策課に伝える。</p>
要 望	<p>○前回の質問が、未回答。ホームページでも答えていない。2年、3年くらい保育園の問題で、関心を持ってやってきた。民間保育園の経緯も、過程もおかしいと思っている。なぜ賛成したのか。各議員の回答がなく、未回答のまま。河川改修(小谷川)の質問もした。</p>	<p>昨年の草加部会場の話なので、担当班である4班に伝えた。</p>	<p>担当班に伝える。</p>

令和 6 年 8 月 30 日

真庭市議会議長 小田 康文 様

令和 6 年度 真庭市議会市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 氏平 篤正

開催日	令和 6 年 7 月 28 日 (日) 13:30~15:50		
開催学区名	上水田小学校		
会場名	英賀老人憩いの家		
出席議員	班 長 : 氏平 篤正 副班長 : 岩本 壯八 班 員 : 長尾 修、森田 敏久、吉原 啓介、黒川 愛		
参加人数	10 人 (うち議員 6 人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	○空き家対策について 空き家になり、借りたいという人も、たまに いるが、持ち主は帰ってお茶する場が ほしいという。一人暮らしの方もいる。 限界集落になる。市民一人一人が考 えていかないといけない。	エンディングノートを提案する。今後のこと を、エンディングノートなどに記しておくこと も必要。市では、壊す補助金、改修補 助金もある。議会の中で、全会一致で、 政策提言を行う取り組みがある。今回、 空き家がテーマになっている。いろんな会 場で、空き家の問題が出てくる。一番は 仕事。来られる人に向けての、仕事も必 要。空き家問題の特効薬はないが、みん なで解決に向けて努めていければ。	済
意見	○空き家と一緒に、土地の問題があ る。営農集団も高齢化で人手不足。 周りを見ても、荒地。景観もよくない。 害獣の棲家になっている。人間が柵を してもらわないといけないような状況。 戦後の農地改革から、何も変わってな いのがよくない。人口減って、面積だけ 残っても、荒れるだけ。	申請書類作成や水路、農地管理などを サポートする仕組みがいる。農地法の問 題もあるが、農地法も少し改正された。 全く農業してなかった人も、入れるよう になった。	済
意見	○人口問題 真庭市 41000 人。75 歳以上が 1 万人。100 歳以上が約 100 人。昔、 48000 人目標だったが、そのまま。ダメ だったら、ダメだと言ってほしい。	自然減と社会減で、毎年 500~600 人減ってる。出生数は昨年 194 人、一 昨年 222 人。毎年、800~900 人 の方が亡くなっている。	済
意見	○同級生が帰ってこない。仕事がない。 20-30 代で帰ってこさせるようなこと が必要。帰りたくても、仕事がなく 帰ってこれなかった。残りたい、帰りたい という街づくりが出来ているかどうか。	生活の基盤の仕事がないと難しい。今 は、真庭の高校の魅力化や郷育などに 取り組んでいる。	済

意見	○蒜山校地について 全国公募というのは、実現するのか。全国区にしても、特徴、魅力のあるものが。学校だけでなく、地域も同じだと思う。色々ではなく、何か集中した方が良い。	全国公募はすでに始まっている。寮が足らず、建設中。先輩に聞いて、後輩が口コミで来てるものもある。帰農塾で、若い人が北房に来てる。清藤さんが頑張ってる。中和は、里山留学に取り組んでいる。都会から、子どもがきて、民家に泊まってる。	済
意見	○西日本 JR 株の展望は 1 億円。私たちから考えると大金。250 万円程度の配当金はどうするのか。1 億円だと、大株主にはなれず、モノを言う株主になれない。	姫新線の場合は、高校生の足になっている。展望としては、姿勢を見せる。駅などでイベントをしたりしている。	済
意見	○落合バイオマス発電の提訴について、どうなってるのか。	執行部と議会の秘密会の内容について、訴えられた。市は反訴する。	済
要望	○水質問題 PFAS は大丈夫か。水質検査に、自治会長として立ち会う。結果が送られてくるが、数字だけで、安全かどうかかわからない。確認できないものもあった。大丈夫だと振興局は口頭で説明するが、この結果が安全だと、一筆書かれた結果が欲しい。振興局には伝えたいが、議員にも知ってほしい。	真庭市は検査していて、基準値以下。健康診断のような数値説明表などがあればと思う。詳細は確認する。 (以下担当課の回答) 要望どおり対応する。	環境課に伝える。
意見	○水質問題 (過程) 水がどのような経過で届いてるか、手順が不明瞭。答えだけみて、大丈夫だと言うが、その過程をきちんと見てるのかどうか。忘れられてる。	水と空気は、意識してやっていかないといいけない。専門分野について、職員が必ずしも専門家である必要はないが、どこに確認するのか、分かっていないといけな	済
意見	○有害鳥獣問題 とうもろこしを植えたが、去年も今年も、全滅。転作奨励金の問題。ハクビシンとアライグマ。檻などの対策は、個人が勝手にやったら怒られる。面積要件などもある。犯罪になる。	アライグマは、大問題。狂犬病の問題もある。有害鳥獣。実害をどうするか。箱罠や、くくり罠もあるが、入れないことが大切。電柵などすると、お金もかかるが、必要にもなってくる。妥当な、適切な対策をどうするか、考えていく。	済
意見	○一般質問 答弁はどれほど実行されてるか。	時間がかかるものもある。すでに進んでるものに乗っかるだけのものもある。粘り強くすることが大切だ。	済
意見	○議員に女性や若い人が少ない。後継者づくりが必要。女性が前と比べて、増えて良い。後継者づくりは、どの分野でも必要。女性に期待してる。出来ん出来んではなく、どうすれば出来るのか、考えてほしい。	定数 24 から 22 になる。若い人、年寄り、男女関係なく、周辺部では、やってやろうと言う人がいない。生活設計を立てて暮らす、議員は年金もない。市議会平均年齢 62.5 歳。若い人がたくさん出て、活性化してほしい。議員は国民保険になる。地域によっては、2 段階で報酬設定をしているところもある。	済

意見	○女性の自治会長も増えるといい。ここでは女性の自治会長。細かいことに気づいてくれて、とても良い。	女性議員が2人から3人になった、もっと増えれば良いと思ってる。執行部にも女性が増えればと、会議などで発言している。	済
意見	○現職議員が亡くなられたが、真庭市では補欠選挙はないのか。	補欠選挙は期間や人数など、決まりごとがある。	済
意見	○開かれた議会になって欲しい。	議員の面白さを、もっと言っていくことも必要。	済
意見	○市外局番 0866、0867 問題。統一してほしい。	NTT 問題で難しい。	済
意見	○補助金の枠はどうなってるのか。	色んな補助金があり、道を直そうという補助金もある。朝一でなくなる補助金もある。国・県からくるものもある。	済
意見	○自主防でテントがほしい自主防の補助金では足りないような。防災のため、自分たちで最低限のものを確保して、最低限のものを準備しておかないといけない。何があっても、テントがほしい。	地域づくり補助金との兼用など、補助金をあわせる方法もある。振興局に相談に行ってほしい。だめな場合は、議会に陳情書を出すという案もある。	済
意見	○県議会と市議会の上下関係は	県の管轄と、市の管轄がある。上下はない。横の関係、連携はある。	済
意見	○真庭市の会派について一般的に、一人会派は少ない。個人の名前で良いのでは。	真庭市は一人会派も、無所属も OK。3人以上の会派には、代表者会議で表決権がある。所信表明に対し、代表質問ができる。	済
質問	○市民の平均年齢は	市役所のデータに無いと思う。確認する。(以下担当課の回答) R2 国勢調査では 53 才。	総務課に確認する。
意見	○データ管理について測量、土地改良の問題、地積図についてなど、データの取り扱いが、あまりにも杜撰。	県の管轄が多い。ここでは答えられない。頂いた資料は、議会事務局に提出。	済
意見	○産廃の不法投棄について	県の管轄が多い。ここでは答えられない。頂いた資料は、議会事務局に提出。	済